

ROTARY CLUB OF

# KANAZAWA-NORTH WEEKLY



## 金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：山田 安隆 幹事：大村 精二

会報委員長：清水 忠

1975・2月6日

第33号

## “福祉国家日本の行手”

石川県社会福祉協議会

専務理事 古田 福松氏



“面白うて やがて悲しき 鶺鴒かな”

元禄の昔、長良川の鶺鴒いを見て芭蕉が吟じたこの一句に、私は現代日本の象徴的な姿をみる思いがする。

颯爽と鶺鴒の手綱をさばく鶺鴒匠は、戦後めきめきと強くなって来た主婦たち。

獲物をせつせと舟に運ぶ鶺鴒は、給料運搬人におちぶれた亭主族。

舟べりで、それを見ておもしろ、おかしく打ち興ずる見物人は、生れながらにして豊かさの中に育って来た四無主義の子供たち。

そして、片隅でこの情景を物悲しく歎ずるのは、かつては苦難の人生を生き、今は死を俟つだけの老人たち……

この鶺鴒日本丸の前途に、激動と混迷の荒海が待ち受けていることを思う時、背筋が寒くなるのは、独り私だけではなからう。

なるほど、国はことし4兆円を、この日本丸の福祉のために投じてはいる。しかし4兆円の巨費も、1人当りにすれば4万円にすぎぬ。4万円に過大な期待をかけるよりは、自分たちの努力で、日本丸をより強く、より豊かにしようではないか。

母なる川を放なれて、荒海にもまれるであろう日本丸のために。やがてはその舵手となるであろう子供のために。

そのために、“父”の強さが、今ほどつよく求められる時はないといってもよいであろう。

—金沢北RC卓話より— (文責 清水 忠)

## 私の職業奉仕

米 沢 修 一

現在。世の中の不安定と、移り変りの激しい日々の社会環境において、人間として心のゆとりと落ち着きを求めることは当然であり、且自然なことです。

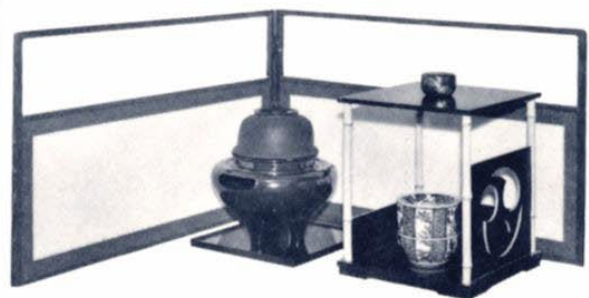
情操教育が、特に重要視される今日、その一部であるお茶をたしなむ方が増加していることは端的にそれを示しています。「人間性の回復」の顕れでしょうか？

「茶は古今奇特の仙薬なり」鎌倉時代の僧、栄西は其の書「喫茶養生記」の中で述べているように当時薬として喫していたお茶が、庶民の飲みものとして普及し始めてから、やっと 100年。だといふのに、いま私達は、種類こそ違え、お茶のない生活を考える事はできません。

小説「草枕」の中での主人公のように“お茶を舌の先へ一しずくずつ落して味わって見るのは、閑人適意の韻事である……”といった飲み方は別として、お茶の葉が切れると何となく落ちつかない、とおっしゃる奥さまもいらっしゃることでしょう。

職場や家庭においてお茶は“憩と対話”の潤滑油だとするならば、日常茶飯として一ぱいのお茶が、暮らしの中でいかに大切な役割を果たしているかが解る訳です。

私はこの尊い職業の一端を担っている事を感謝し誇りをもつものであります。  
より良き茶。本来の茶の味を追求する事を使命とし職場を通して奉仕の精神に徹したいものです。



### ロータリーの文献は努めて読もう！

“ロータリーの友”は、世界と日本のロータリーを知ることが出来る。

“ガバナー月信”は、日本と地区のロータリーを知ることが出来る。

“クラブ会報”は、地区とクラブの状況を知ることが出来る。

“ロータリー文献”は、ロータリーの良さと知識を知ることが出来る。



## とし男、今年の抱負を語る (1)

笠間 恒次



昭和50年、それは語呂からいうと誠に縁起が良さそうである。

ところが反対に大不況である昭和2年、卯年生れだから今年で48才、人生の $\frac{2}{3}$ をどうにか突破、残り $\frac{1}{3}$ 。人生誠に早きかなである。

今年の運勢はと言えば「頑固で変屈なれば汚名孤独や破財の兆あり、家屋か子供親族間の難題も自我を押せば吉」と有る。いやはや大変な年を迎えたものである。年男大いに語るどころではなさそうである。

昨年の企業倒産は11,705件、負債総額1兆6千億円、過去最高は昭和43年の10,013件、負債総額7千7百億円、正に天文学的数字である。

本年も又昨年に優るとも劣らぬ苦難の年になりそうである。

倒産は、極端に言うと殺人行為にも思える。経営者として最も恥すべきことである。不況こそ経営者の真価が問われる時であり、会社の屋上高くZ旗が揚った如き昨今である。

高度成長経済から低成長経済への企業の体質作りを如何に早くやるべきかが、最大の課題であろう。

総需要抑制如何なる企業も大変苦しい。(不況知らずはお医者様のみか。いや大変失礼。)このような時こそ労使協調一致団結し、難局に当るの指導が大切ではなからうか。

「消費は美德なり」、と言った時代は過ぎ去った資源のとぼしい日本は、世界一儉約国家になっても良いのではなからうか。

会社にとっては節儉は大きな収入である。30年前の戦争前後のあの苦難の時を考え、忍耐強く事に当って行くべきではなからうか。

不況こそよく考え、行動し、判断しなければならない。不況に名薬無し、経営の基本原則に忠実なれである。

バイタリティ、ファイト、チームワークの三つの力あるのみ。

うさぎは上に強いが下りには弱いというが、上りにも下りにも強いうさぎになり度いものである。

禍転じて福となす、の決意と経営者としての始めて遭遇せし大不況を、私に与えた神の大試練と思ひ、自信と勇気を以てこの難局を打開して行く覚悟である。

### 理事会・クラブ協議会

1月23日 P.m.6:00 石亭

- ① 当クラブ収支予算中間報告。
- ② 当クラブよりベルギーへ交換学生派遣決定。  
越野、高田会員の御子息(大学生)2名決定。
- ③ 新入会員2名推せんあり審議。
- ④ 1月30日年次総会開催し次年度理事選出、  
役員並びに各委員長を決定する。
- ⑤ 国際RC70周年行事 2月23日定例会でRI  
の映画の映写会を催すことに決った。

